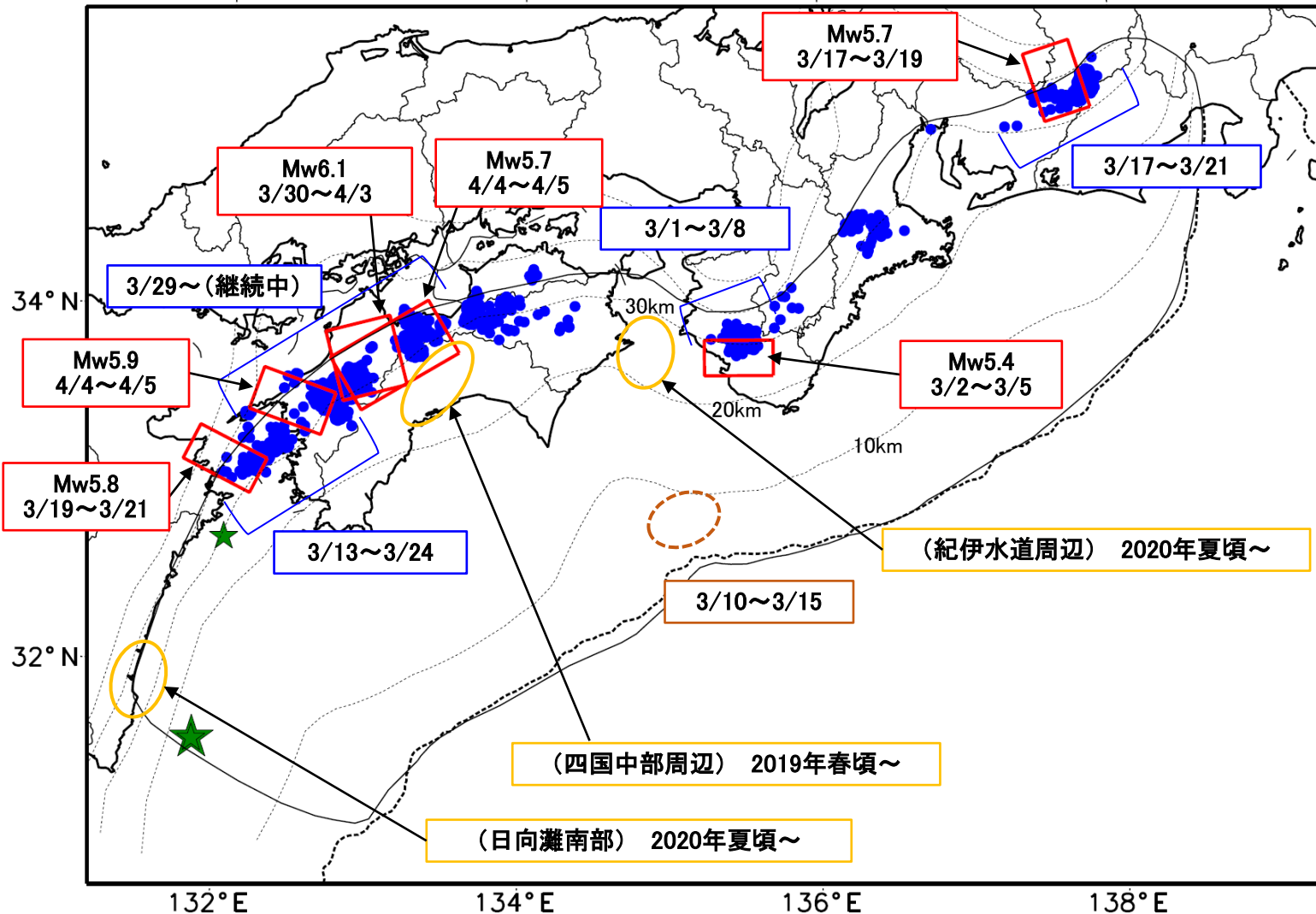


最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2022年3月1日～4月5日

100km



- 緑(★)
通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)
- 青(●)
深部低周波地震(微動)
- 赤(□)
短期的ゆっくりすべり
- 黄(○)
長期的ゆっくりすべり
- 茶(○)
浅部低周波地震(微動)

※地図中の点線は、Hirose et al.(2008), Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり.....【東海、四国中部から西部】気象庁の解析結果による。【紀伊半島西部、四国西部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。
 長期的ゆっくりすべり.....【四国中部周辺、紀伊水道周辺、日向灘南部】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。
 浅部低周波地震(微動).....【紀伊水道沖】防災科学技術研究所の解析結果を元におおよその場所を表示している。

令和4年3月1日～令和4年4月5日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
3/3	08:53	日向灘	37	3.6	2	フィリピン海プレート内部
4/2	20:16	日向灘	22	4.6	2	
4/2	20:22	日向灘	22	3.7	-	

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

※太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
<p>■四国東部</p> <p>2月25日～3月8日</p> <p>3月13日、3月15日～21日</p> <p>3月23日、3月26日</p> <p>3月31日～4月3日</p> <p>4月5日～（継続中）</p> <p>■四国中部</p> <p>3月10日～11日</p> <p>3月17日、3月22日</p> <p>3月31日～（継続中） . . . (4)</p> <p>■四国西部</p> <p>3月1日～2日</p> <p>3月7日</p> <p>3月9日～11日</p> <p>3月13日～24日 . . . (2)</p> <p>3月26日</p> <p>3月29日～（継続中） . . . (4)</p>	<p>■紀伊半島北部</p> <p>3月1日～2日</p> <p>3月17日～19日</p> <p>4月4日～（継続中）</p> <p>■紀伊半島中部</p> <p>3月4日～5日</p> <p>4月5日～（継続中）</p> <p>■紀伊半島西部</p> <p>3月1日～8日 . . . (1)</p> <p>4月2日～3日</p>	<p>3月7日～8日</p> <p>3月16日</p> <p>3月18日～21日^{注1)} . . . (3)</p>

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を**赤字**で示す。

※上の表中（1）～（4）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

注1）防災科学技術研究所による解析では、3月17日から21日頃にかけて、やや活発な微動活動が見られた。

○浅部低周波地震（微動）活動期間

<p>■紀伊水道沖</p> <p>3月10日～15日</p>

※浅部低周波地震（微動）活動は、防災科学技術研究所による解析結果について記載している。